

NASUMACHI

議会だより

No.169

令和5年

8月1日発行



さがそう

みんなの宝もの



黒田原第2保育園



もくじ

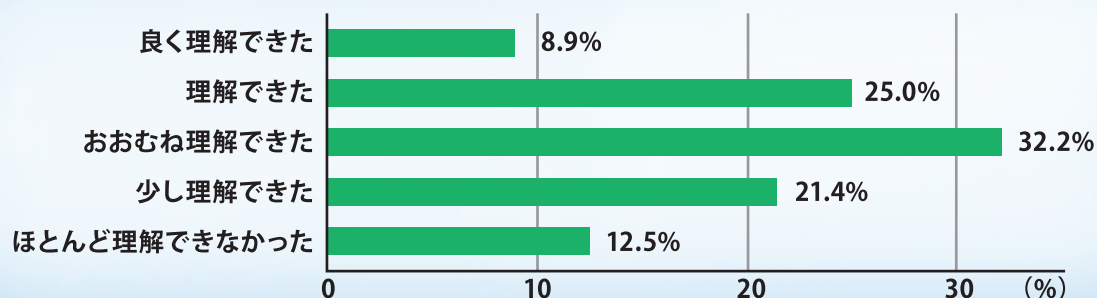
議会傍聴(那須高等学校).....2	審議議案と賛否状況.....4	一般質問.....6
傍聴者アンケート.....11	議会広報モニター.....12	委員会活動.....13
町民の声.....15		

那須高等学校生 町議会を傍聴

那須町は、県立那須高等学校とパートナーシップ協定を締結し、
様々な連携した取組みを行っています。
その一貫として、6月5日に県立那須高等学校の1年生70名が
議会一般質問を傍聴しました。「議会及び町政に対して」
生徒から意見をいただきましたので、
その一部を紹介します。



議会(一般質問)の内容は理解できましたか



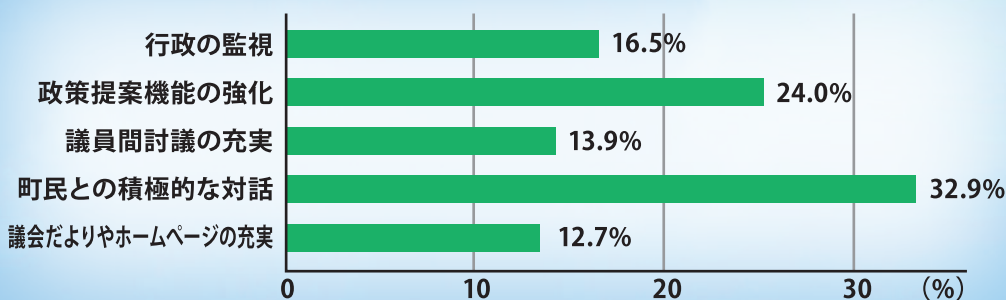


議会及び町政に対してご意見を頂きました
(原文のまま)

- 良い経験だったと思いました!
- 本当に有意義な時間でした。議会について色々な事を学びました。
- 色々な事を学ぶ事が出来た。
- 議会を傍聴して、もっとこの町がより子供たちが住みやすい町にしてほしいです。



議会に期待することは何ですか(複数回答可)



那須町の未来を担う那須高校生に、議会傍聴での経験や学んだことを活かし、今後の活躍に期待します。

那須町議会議長
室井高男

上程議案・概要	審議結果
条例制定等	
那須町税条例の一部を改正する条例の専決処分について 地方税法改正による改正 【主な改正点】 ・軽自動車税のグリーン化特例の期間の延長に伴う改正 ・森林環境税が導入されることに伴う改正 ・特定小型原付き自動車(電動キックボードなど)の種別割の税率改正	原案承認 (全員賛成)
一般	
工事請負契約の締結について 相鉄5号幹線(五峰橋)橋梁補修工事(道路メンテ事業)	原案可決 (全員賛成)
補正予算	
令和5年度那須町一般会計補正予算(第3号)について 総額 133億7,840万円 補正額 1億810万円の増額 【主な内容】 ・価格高騰重点支援給付金事業費 9,650万円 ・子育て世帯生活支援特別給付金事業費 1,160万円	原案可決 (全員賛成)

※議長は賛否同数の場合にのみ加わります。

● 請願・陳情について

請願・陳情とは、町民のみなさんの意見や要望を直接議会に伝え、町政などに反映させる重要な制度です。

請願は、憲法で保障された国民の基本的権利であり、その方式や手続きなどが定められています。陳情は法律上の規定はありません。また、請願は、町議会議員の紹介が必要ですが(ただし正副議長等は好ましくありません)、陳情は必要ありません。

提出された請願・陳情は、年4回(3月、6月、9月、12月)開催される定例会において審査されます。

詳しくは、
町ホームページを
ご覧ください。



請願・陳情の審査の流れ

請願者・陳情者から請願書・陳情書を議長に提出する



議長は請願書・陳情書を受理(※)し、本会議へ上程する
※協議の結果、上程されない場合もある(議長預り)



本会議で所管委員会へ付託する



所管委員会で審査する



所管委員会の審査結果を本会議で報告し、本会議で議決する(採択・不採択)



請願者・陳情者、町長等に結果を報告する



◀ 動画配信が見られます

議員のつぶやき

地球温暖化による災害防止の
ためにライフスタイルの
見直しが重要



たむら なみゆき
田村 浪行

地球温暖化対策の取組みについて

質問 循環型社会への取組みは

町 ▶ 3R を町民へ周知

問 ※1 サークュラーエコノミー（循環経済）について町の認識は。

答 【環境課長】
製品や原材料などを資源と考え、リサイクル等で活用し、資源循環を目指すもの。SDGsの目標である「つくる責任つかう責任」達成のため必要な考え方のひとつとして認識している。

問 ※2 エシカル消費についての認識は。

答 【環境課長】
環境や社会、人などに配慮し未来をよりよいものへ変えていくことであり、持続可能な生産消費形態の確保を達成するためにも重要であると認識している。

※1…経済活動の中で、廃棄されていた製品・原材料等を再利用し資源を循環させる新しい経済システム。

※2…消費者が自分の損得だけを考えるのではなく、環境や社会、人などに配慮されたものを選んで消費すること。

問 循環型社会への取組みは。

答 【環境課長】
循環型社会実現のために、町民や事業者にはリデュース・リユース・リサイクルの3Rを心がけていただくよう町の広報紙やホームページ等で周知を図る。

行政の効率化と住民サービス向上

質問 窓口に行かない手続きの取組みは

町 ▶ オンライン手続きで効率化を図る

問 デジタル手続きによる利便性向上の取組みは。

答 【企画政策課長】
マイナンバー制度の活用により、自治体間の連携が図られ、窓口ごとに必要としていた添付書類の省略や、税金等の納付にキャッシュレス決済を可能にした。

問 窓口に行かないオンラインによる手続きの取組みは。

答 【企画政策課長】
国のオンライン申請サイト「マイナポータル」において児童手当に関連する届け出や要支援・要介護に関する手続きが既にオンライン化されており、町としても更なる行政手続きの効率化、住民の利便性向上に取り組んでいく。

問 不在者投票をマイナンバーカード利用で業務効率化する考えは。

答 【総務課長】
※1 マイナポータルのサービス検索・電子申請機能を利用し、行政手続きをオンラインで行えるサービス。

※1…マイナポータルのサービス検索・電子申請機能を利用し、行政手続きをオンラインで行えるサービス。



町のマイナンバーカード申請コーナー



◀ 動画配信が見られます

議員のつぶやき
安心・安全と
全ての町民に寄り添った
まちづくりが
今後必要



こやまだ のりゆき
小山田 典之

◆ほかに「放課後児童クラブ」「地区別新生再生計画の推進」の質問もしています。

防犯カメラ設置に関して

質問 設置に補助金の考えは

町 ▶ 防犯カメラの設置需要を確認する

問 防犯カメラの設置状況は。

答

【総務課長】

令和3年度国体事業の一環として、スポーツセンター・ゆめプラザ・役場前いこいの広場・中央運動公園・黒田原駅前の5ヶ所に設置。



街中の交通状況

問 自治会等に防犯カメラ設置を推進し、設置の際に補助金を出す考えは。

答

【総務課長】

安心・安全なまちづくりを推進する上で、防犯カメラ設置は犯罪抑止に繋がるものと考えている。

現在、防犯カメラに関する補助金は無いが、本年度は自治会に対する要望調査の中で、防犯カメラ設置需要についても確認したい。



障がい者及び障がい児福祉について

質問 住まいや暮らしについての対応は

町 ▶ 関係課と連携し周知を行っている

問 障がい福祉に関する意識調査結果の「住まいや暮らし」の項目について、これまでの対応は。

答

【保健福祉課長】

在宅生活への要望に応えるため、介護給付・訓練等給付といった、障がい福祉サービスの利用促進を図っている。経済的支援についても障がい者年金制度や重度心身障がい者医療助成、自立支援医療制度等について関係課と連携し周知を行っている。

問 支援を必要とする方に寄り添った説明をしているか。

答

【住民生活課長】

障がいのある方の事情に寄り添った、わかりやすく優しい行政を心掛け、制度の案内をしていく。

問 現在の障がい者年金の受給者数は。

答

【住民生活課長】

令和4年3月末時点で、国民年金の障がい者年金受給者は、1級235名、2級282名、合計517名。



保健福祉課の窓口



◀ 動画配信が見られます

議員のつぶやき
障がいのある児童生徒の
要望を受け止める
行政を望む



おの ようこ
小野 曜子

子ども・子育て支援について

質問 保育料の段階的無償化の考えは

町 ▶ 現状での無償化は考えていない

問 0から2歳児の保育料は、非課税世帯以外有料。一方先進自治体は、若者や子育て世代に選ばれる町、移住定住促進策として保育料を軽減しているが、段階的に無償化にする考えは。

答 【こども未来課長】
安定的に確保できる財源が必要になり、財源確保の見込みがない現状では、無償化は考えていない。



短冊に願いを込める園児たち

問 佐野市、益子町、茂木町では0から2歳までの保育料を第2子から無償化している。町でも第2子から無償化にする考えは。

答 【こども未来課長】
速やかに調査研究していきたい。

問 3歳以上の保育料は国の改正で無償になったが、副食費は保護者が負担している。副食費を無償にするか軽減の考えは。

答 【こども未来課長】
3歳以上の副食費については、一部免除は行っている。全児童の無償化は、安定的に確保できる財源が無く考えていない。

◆ほかに「子どもの遊び場」の質問もしています。

障がい児対策について

質問 スクールバスの車いす対応は

町 ▶ 意見は県に伝えたい

問 障がいのある児童生徒が町内の小中学校普通学級で学ぶことができるよう取り組まれてきたが、その内容は。

答 【学校教育課長】
※1 合理的配慮の範囲内だが、教室環境、備品の整備を進めている。さらに町指導助手を全ての学校に配置し、小学校2校に※2 通級指導教室を開設した。また、障がいに合わせた特別支援学級の新設を県に要望している。

※1…障がい者から何らかの助けを求める意思の表明があった場合、設置者が過度な負担になりすぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な便宜のこと

※2…何らかの問題を抱えている児童の学習や生活上の困難な状態の改善と克服のための指導を行う場所

問 県立那須特別支援学校のスクールバスに、身体に障がいのある児童生徒のため、車いす対応が可能になるよう県に働きかける考えは。

答 【学校教育課長】
那須特別支援学校のスクールバスは、現在車いすの利用ができないということは町の認識である。意見は県に伝えたい。



車いす用リフト付きスクールバス



◀ 動画配信が見られます

議員のつぶやき
婦人防火クラブの
新たな体制づくりを
期待している



さいとう のりひと
齋藤 則人

■ 婦人防火クラブについて

質問 町の支援体制は
町 ▶ 運営への助言や補助金の交付

問 婦人防火クラブへの支援体制は。

答 【総務課長】
婦人防火クラブ連絡協議会に、運営に関する助言や年間18万円の補助金を交付している。

問 一部の婦人防火クラブでは、少子高齢化により会員が減少しクラブ運営が難しく、解散したいとの声を聞いている。解散について町の考えは。

答 【総務課長】
各地域への自主防災組織の設立に力を入れており、クラブと何らかの連携を図ればと考えている。

問 婦人防火クラブと自主防災組織を一本化していく考えは。

答 【総務課長】
クラブが地域の実情により活動が困難となった場合、自主防災組織内で役割を担って活動を継続していくことが望ましいと考えている。



■ コロナ後の観光誘客対策について

質問 どのような観光地を目指すのか
町 ▶ 世界に通用する観光地

問 ※1 DMO(観光地域づくり法人)とは。

答 【観光商工課長】
地域の多様な関係者を巻き込み、データに基づいた地域マーケティングを行い、観光地域づくりを担っていく法人。本年度、那須町観光協会がDMOの申請をしており、登録される予定。

問 対象の客層は。

答 【観光商工課長】
データを収集し分析を行うが、現時点では関東や近県の子ども連れやファミリー層、近年増えているペット連れ旅行者。

問 DMO登録により、どのような観光地を目指すのか。

答 【町長】
データに基づいた地域マーケティングを行い、多様な関係者と協働し明確なコンセプトを持って観光地域づくりを推進していく。
世界に通用する観光地を目指し、ロイヤルリゾート那須を基本理念として、何度でも来ていただける観光地づくりを行いたい。



DMO申請をする那須町観光協会

※1…「Destination Management organization」の略



◀ 動画配信が見られます

議員のつぶやき
町民の声を聞き入れ
町に提言したい



みうら ようこ
三浦 陽子

電気自動車のあり方について

質問 購入費補助の考えは

町 ▶ インフラ整備とともに検討する

問 電気自動車の購入に対する補助を実施する考えは。

答 【環境課長】
※1
普及にはインフラ整備も同時に必要である。また、財源確保も必要でありCO₂削減のためにも調査し検討する。

問 脱炭素を掲げているのにも関わらず、補助金導入を先送りしている。実際に検討して事業化する予定はあるのか。

答 【環境課長】
購入補助とインフラ整備は同時に進める必要がある。財政面を考慮し総合的に事業導入を検討する。

※1…産業や生活の基盤となる公共施設を整え、充実させること。

問 道の駅那須高原友愛の森に無料の充電設備を1基設置しているが増設する考えは。

答 【町長】
民間事業者から充電設備設置の提案があり、友愛の森の再整備後に複数設置に向け考えていく。



友愛の森に設置されているEV急速充電器

黒田原駅前通りの活性化について

質問 「みんなの店」の再建は

町 ▶ 関係者と協議し検討していく

問 ※1
黒田原駅前「みんなの店」の運営状況は。

答 【観光商工課長】
那須未来株式会社に委託している「みんなの店」は、昨年度の利用者は約2万人、売上額は1,630万円、収支は670万円の赤字。

問 赤字から脱却するための取組みは。

答 【観光商工課長】
営業時間の見直しや従業員の削減等を行い、収入を確保するため経営改善に取り組んできた。

※1…黒田原駅前店舗活用事業として、町が民間所有の店舗を賃借し、那須未来株式会社へ業務委託し店舗運営を行っている。

問 13年間継続してきた「みんなの店」を、今後は老若男女問わず誰もが入店しやすい店舗として再建していく考えは。

答 【観光商工課長】
関係者と協議し店舗のあり方について検討していく。



黒田原駅前みんなの店